

出演者プロフィール

指揮 水戸博之 Hiroyuki Mito



1988年北海道江別市出身。東京音楽大学及び同大学大学院作曲指揮科(指揮)を修了後、広上淳一、バーヴォ・ヤルヴィ、川瀬賢太郎、山田和樹らのアシスタントを務め研鑽を積む。これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団などに客演。

また合唱指揮者として東京混声合唱団や新国立劇場合唱団と数多く共演する他、音楽スタッフとして新国立劇場、日生劇場、藤原歌劇団のオペラ公演に参加する。しまね県民オペラ2023にてG.プッチーニ《ラ・ボエーム》を指揮し、オペラデビューの予定。

現在オーケストラトリプティック常任指揮者、東京混声合唱団コンダクターインレジデンス。



ソプラノ 西森由美 Yumi Nishimori

熊本県水俣市出身。東京藝術大学卒業。二期会オペラスタジオ第28期修了、最優秀賞受賞。文化庁オペラ研修所第5期修了。これまでに フィガロの結婚(伯爵夫人)、魔笛(パミーナ)、コジ・ファン・トゥッテ(フィオルディリージ)、

ドン・ジョヴァンニ(ドンナ・アンナ)、ヘンゼルとグレーテル(グレーテル)、オテロ(デズデモ)、サロメ(サロメ)、カルメン(ミカエラ)、ペレアスとメリザンド(メリザンド)等、ドイツ、イタリア、フランスの多くのオペラに出演。それらを透明感のある美声で表現し、多彩な役柄を演じ分け絶賛を博した。オペレッタの分野では、はるのバラード(マリカ)、ルクセンブルク伯爵(アンジェール・ディエ)役で出演。瑞々しい感受性と美しい日本語で観客を魅了した。また、児童合唱及び合唱曲の作曲や指導者として世界的に活躍しているヴィトータス・ミシュキンス氏の率いる合唱団「アジュアリユカス」(リトアニア共和国)と各地で共演。新境地を開いた。その他のコンサートでは、ベートーヴェン(第九交響曲)、ヘンデル(メサイア)、ハイドン(天地創造)、モーツァルト(レクイエム)(大ミサ短調)(ミサ・プレヴィス)、フォーレ(レクイエム)、マーラー(交響曲第四番)(熊本交響楽団と共演)他数多くのミサ曲、オラトリオのソリストとしても活躍している。また、ドイツに於ける「山本純二」個展演奏会」に同行。各地でベルリンフィルのメンバーと共演し好評を博した。二期会会員。



メゾソプラノ 岡村彬子 Akiko Okamura

熊本県出身。熊本県立熊本北高校卒業、国立音楽大学卒業、東京学芸大学大学院修士課程修了。

これまでに声楽を浦田玲子、佐藤ひさら、鎌田直純の各氏、ピアノを倉田愛子、光永育の各氏、高校時代吹奏楽を早川英一氏に師事。第13回九州音楽コンクール一般クラス金賞、第33回飯塚新人音楽コンクール入選、第44回フランス音楽コンクール第2位、第19回日仏声楽コンクール入選。

これまでに、熊本県新人演奏会、文化庁委託事業によるガラコンサート、末吉保雄作品個展、日本フォーレ協会サロンコンサート、福岡ジルベスターコンサート等出演。また、「カルメン」カルメン役、「蝶々夫人」スズキ役、「こうもり」オルロフスキー公爵役、「ヘンゼルとグレーテル」魔女役、「魔笛」侍女3役、「椿姫」フローラ役、ベートーヴェン「交響曲第九番」アルトソリスト等を務める。現在、東京二期会、日本フォーレ協会、各会員。東京学芸大学、三幸学園、各非常勤講師、洗足学園音楽大学準演奏補助要員。令和3・4年度熊本県立劇場登録アーティスト。



テノール 中原雅彦 Masahiko Nakahara

東京藝術大学卒業。同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第三期修了。大学卒業時に松田トシ賞を受賞。2003年文化庁新進芸術家在外研修員にてイタリア・ミラノに留学。

大学からの推薦により朝日新聞社・東京藝術大学共催(メサイア)のテノールソリストにてデビュー。ハイドン作曲(天地創造)テノールソリスト、ベートーヴェン作曲(交響曲第九番)テノールソリスト多数出演。東京藝術大学同声会新人演奏会、第66回読売新人演奏会、サントリーホール10周年記念フェスティバル公演「サントリーホールデビューコンサート・レインボーコンサート」、文化庁主催「明日を担う音楽家による特別演奏会」、等出演。オペラでは芸大オペラプロジェクト(椿姫)公演アルフレード役、新国立劇場研修所公演(コジ・ファン・トゥッテ)フェランド役、またイタリア・トスカナ州サンタ・フィオーラでは第5回国際音楽フェスティバルにてプッチーニの《蝶々夫人》ピンカートン役、プッチーニ作曲(トスカ)カヴァラドッシ役、ヴェルディ《仮面舞踏会》リッカルド役、ドニゼッティ作曲(愛の妙薬)ネモリーノ役、新国立劇場公演(フィガロの結婚)ドン・クルツィオ役、東京二期会オペラ公演(天国と地獄)マーキュリー役、(ナクス島のアリアドネ)ブリゲッラ役等、多数出演。

川上洋司、三林輝夫、Sergio Bertocchi、Paolo Berrino各氏に師事。熊本大学准教授。二期会会員。



バス 佐藤泰弘 Yasuhiro Satou

新潟県長岡市出身。東京藝術大学声楽科卒業、同大学院博士課程修了。博士号取得。89年渋谷オーチャードホール柿落とし公演「魔笛」ザラストロで楽壇デビュー。イタリア声楽コンクール金賞、新潟県音楽コンクール大賞、第3回ロシア歌曲賞受賞。96年モスクワ音楽院研究員修了。モスクワ在

住中「シャリアピン記念3大バス歌手演奏会」の1人としてボリショイ歌劇場のソリストと競演。平成9年度文化庁芸術家在外研修員として渡伊以来、ミラノに約9年留学。オルヴィエート市国際コンクール最高位、G.シモナート国際コンクール第2位、ヴィッシー・ダルテ国際コンクール第3位入賞。98年オルヴィエート市マンチネリ劇場で「ブルスキニー」氏「ガウデンツィオ」、99年ロシア国立モスクワ児童劇場「エフゲニー・オネーギン」グレミン、04年ミラノ・カルカノ劇場「セヴィリアの理髪師」バジーリオ、05年ボローニャ・ドゥーゼ劇場「ナブッコ」ザッカリヤ、新国立劇場新制作「指輪」ファフナー(01年、03年)、「[ばらの騎士]」主役オックス男爵は東京二期会とびわ湖ホールに出演し、演出家G.クレマー氏に「チャップリンのような名演技」と称賛される。09年NHKニューイヤーマラソンにて出演。12年の新国立劇場「エロディアド」占師ファンニエル出演は新聞評で絶賛された。その舞台をきっかけに選出されて13年に日清食品GooTa一点豪華主義CMに主演して全国On air。06年N響定期演奏会「ファウストの劫罰」ブランデルで共演した指揮者C.デュワ氏に招聘され、19年同演目同役で上海交響楽団と上海・北京で再共演。指揮者V.クレメンツ氏に「滅多に聴けない貴重なバス」と厚い信頼を得て19年オペラ彩「ナブッコ」ザッカリヤで10回目の共演。今年4月江東オペラ「トゥーランドット」ティムール出演など演奏活動続行中。第九ソリスト出演は多数重ねたが、熊本では初となる。現在、二期会会員、東邦音楽大学教授。